

札幌市 企業版ふるさと納税の ご案内

札幌への期待を、寄付のカタチで



主な寄付対象事業

ウェルネス★プロジェクト



健康寿命の延伸に向けて、健康チェックや歩数の企業対抗など、様々な面から健康意識の醸成と健康的な行動の促進に取り組んでいます。「健康」をもっと楽しく身近にする取組を一層充実していきます。

さっぽろ圏「ひとづくり」プロジェクト



8市3町1村により形成される「さっぽろ圏」を支える人材を育成・確保し、持続可能な「まちづくり」につなげるための取り組みを行います。

市民活動の促進「さぽーとほっと基金」



さぽーとほっと基金では、もっと住みよいまちにするために、そして、もっとまちに笑顔があふれるように、福祉や子育て、まちづくり、スポーツ・文化など札幌市のまちづくり活動を支援するために活用します。

地域福祉振興事業



誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉社会の実現のために市民参加による福祉活動の推進事業に活用します。

ゼロカーボンシティを目指して



札幌市では、市内から排出される温室効果ガスを実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた取組を進めています。寄付金は、今注目されている水素エネルギーの普及に活用します。

「こども本の森 札幌・北大」への支援



提供：安藤忠雄建築研究所

世界的建築家の安藤忠雄氏が設計・建設する子ども向け図書施設「こども本の森 札幌・北大」を北海道大学と協力して運営します。この施設は子どもの読書活動推進を目的としており、令和8年夏の開館を目指して準備を進めています。

札幌国際芸術祭の開催



札幌国際芸術祭は、3年に一度、札幌で世界の最新アート作品に出合える、特別なアートイベントです。次回開催は3年後（令和8年度）に予定しており、企画準備やプロモーション、プレイベントの開催などを行うために活用します。

障がいのある方の支援



障がいのある人の社会参加や福祉の向上を支援する活動を行う民間団体に対して助成金等として活用します。

スポーツの振興～スポーツによるまちづくり～



豊富な雪と都市機能が調和する世界有数の都市として、ウィンタースポーツを始めとするスポーツの普及・振興を図るための取組や、スポーツ施設の整備などに活用します。

大学応援プロジェクト



市内13の大学では最先端の研究や多様な分野で活躍する人材の育成のほか、地域社会の課題解決に資する活動などの様々な取組が行われています。寄附金は、市内の大学・短期大学や学生が行う公益的な事業への支援、大学間連携に資する取り組みの推進等に活用します。

動物園応援基金



札幌市円山動物園では、「動物園応援基金」を設置しております。野生動物の保全活動や良好な動物福祉の確保に関する取組の促進を図ります。

STARTUP HOKKAIDO支援



北海道らしいスタートアップの重点領域として「一次産業・食、宇宙、環境・エネルギー」の3産業に注力支援を行い、北海道を「アジアのスタートアップアイランド」へと発展させ、北海道そして日本の経済活性化と持続可能な社会の実現に向けた活動に活用します。

NoMaps支援



先端テクノロジーや斬新なアイデアを軸として、「新しい価値観/文化/社会の姿」を提案するコンテンツをテーマに、新たなイノベーションや人的な繋がりを生み出し、社会を加速させるための場を提供するNoMapsの支援事業に活用致します。

PMFの支援～世界から札幌に、札幌から世界に～



世界三大教育音楽祭のひとつといわれるPMF。才能あふれる若手音楽家がPMFで学び、世界を舞台に活躍するための機会として、渡航費や滞在費等を負担する支援に寄付を活用致します。

夜間・休日の救急医療体制の充実強化



札幌市の夜間急病センターや休日救急当番制度、二次救急医療機関制度等については、医療需要の増加や多様化、さらには医療従事者の減少などの課題が生じています。これらの課題に対応するため、寄附金は、夜間・休日の救急医療体制のさらなる充実強化に活用します。

観光・MICE振興～さっぽろをもっと魅力的な観光都市に！～



四季の魅力、豊かな食、雪まつりなどのイベント、スキー場、定山渓温泉などがあり、市はこれらの魅力に磨きをかけ、持続可能な観光地を目指しています。いただいたご寄付には、観光やビジネスで札幌を訪れる皆様に、よりご満足いただけるよう活用いたします。

消防救急体制の充実強化



積雪寒冷地特有の課題と、激甚化する災害リスクに対応するため、持続的かつ強靱な消防・救急提供体制の確立は、公共安全基盤を支える最重要課題です。

本事業へのご寄附は、体制強化のための中核的な分野に、最も効果的に、かつ戦略的に投入させていただきます。

ご案内

企業版ふるさと納税とは

平成28年に創設された「企業版ふるさと納税」は、国が認定した地方再生計画に位置づけられる地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。

損金算入による軽減効果（寄附額の約3割）と合わせて、令和2年度税制改正により拡充された税額控除（寄附額の最大6割）により、最大で寄附額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担が約1割まで圧縮されます。

企業版ふるさと納税の特徴

- | | |
|----------|---|
| 1. 法人住民税 | 寄附額の4割を税額控除（法人住民税法人税割額の20%が上限） |
| 2. 法人税 | 法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度（法人税額の5%が上限） |
| 3. 法人事業税 | 寄附額の2割を税額控除（法人事業税の20%が上限） |

企業版ふるさと納税留意事項

- 札幌市に本社が所在する企業は対象外
- 一回当たり10万円以上の寄附が対象
- 寄附企業への経済的な利益の供与は禁止（補助金の交付、低金利の貸付、入札の便宜など）
- 寄附に対する返礼品はなし

企業版ふるさと納税大まかな流れ

- ① 寄附の相談・申出
- ② 寄附対象事業を選択し、寄附申出書を提出
- ③ 所管部署より、納付書を発送
- ④ 寄附金納付
- ⑤ 受領証を発行
- ⑥ 受領証を使用し、確定申告

御社が寄附をした地方創生プロジェクトで活用されます